

中之又小だより

聡く・美しく・逞しく

NO8 平成20年6月16日

毎日雨の日ばかりです。水が必要な米の普通作にとっては、恵みの雨です。夏の草花や野菜にとっても成長に欠かせない水でしょう。しかし、雨によって、山が崩れたり、道路が壊れたりするのは困ったものです。学校周辺も急傾斜地になっており、安心はできません。土砂災害等に対しても気を付けていきます。

ところで、先週の11日(水)、中野に通じる道路で以前から崩落が心配されていた崖が崩れ、岩や砂利が道路一面を覆っていました。岩などを退かさなければ車が通れない状況でした。公民館長の中武繁さんや山村留学実行委員会会長の中武春男さんが子どもたちの登下校を心配されて学校まで来てくださいました。また、中武裕次さんからは、電話で状況や対応について連絡を受けました。地域の皆さんが、子どもたちや学校のことを一生懸命考えてくださっていることが改めて分かり感謝した次第です。

崩落した壁は一部であり、これから崩れそうな所がたくさんあり、いつ崩落して道路に落ちてくるかもしれません。道路は、子どもたちの通学路で地域の皆さんの生活道路でもあります。このまま雨降りの日が続けば崩落する心配があり大変危険な状況です。

そこで、臨時の山村留学実行委員会を開催し、子どもたちの登下校の安全を確保するために相談していただきました。その結果、道路の安全が確認されるまで里親さん宅を移すことになりました。黒木美智子さん宅から魂所の大和田ミユキさん宅になりました。里親さんには何かと気苦労をおかけしますがよろしく願います。実行委員会の早い対応にお礼を申し上げます。

また、崩落した道路擁壁の修復工事については、公民館長の中武繁さんと協力して、早速、木城町の環境整備課の方や高鍋土木事務所の方に現場を視察してもらいました。早急な対応をお願いしたところです。早く安全な道路にして、いつでも安心して通行できるようにして欲しいです。

しばらくは雨降りの日が続くと思います。土砂災害や道路決壊などが無いことを願っていますが、いつ起こるとも限りません。どうぞ気を付けていただき、安全な毎日をお過ごしいただきたいと思います。学校は、子どもたちの安全を第一に考えて、これからも取り組んでいきます。お気づきの点がありましたら、些細なことでもご連絡ください。よろしく願います。

岩手、宮城内陸地震

中国の四川省で大地震が起きたばかりですが、今度は国内の岩手、宮城内陸で大地震が発生しました。死者や行方不明者、負傷者が多数出て、多くの人々を悲しませています。地震はいつ起こるか予測はできません。今後日向灘地震が起こることも考えられます。しかし、起きた場合の対応や心構えは必要です。最優先は、命を守ることです。自分の命は自分で守れるように指導していきます。

山村留学実行委員会・閉校準備委員会の開催

10日(金)、関係者に集まっていたいただき、山村留学実行委員会と閉校準備委員会を開きました。

山村留学実行委員会では、夏休み中に初めてサマースクールを実施することにしました。来年からは地域で運営できることも考えて実施時期、実施内容を検討しました。まずは、やってみて今後検討

していきます。

閉校準備委員会は、閉校について正式な決定は通知されていませんが、今から組織を編成して準備に取りかからないと、事務処理や閉校式等に間に合わないことも考えられます。

そこで、第1回閉校準備委員会を立ち上げ、組織作りを行い、年間スケジュールを確認しました。

地域の皆様方にもいろんな面でご協力をお願いすることになると思います。よろしく願います。

短歌・俳句づくり

本年度は、国語の学習を中心に書くことに力を入れています。特に、短い文の中に自分の思いや考えを入れていく短歌・俳句づくりをしています。子どもたちの作品が宮崎日日新聞の学園俳壇や学園歌壇に時々掲載されていますのでご覧ください。励みにもなっており、職員同様に子どもたちも月曜日の新聞を楽しみにしています。